



図書委員会だより



令和8年1月13日発行

皆さんこんにちは。図書委員会です。

突然ですが、皆さんは、図書館という場所にどのようなイメージをお持ちでしょうか。本がたくさんあって調べ物をするところや勉強をするところなど堅苦しいイメージを持っている人が多いかもしれません。僕はよく図書館を利用させていただいているが、僕にとって図書館は、遊び場のようなところになっています。本を読むのが好きで、放課後時間があるときは本棚を見て面白そうな本を探したり、何時間もずっと本を読み続けたり。眠たいときには寝ていることもあります。今回は、僕が図書館を利用していて得したな、楽しいなと思うことを語っていこうと思います。

まず、なんといってもお金がかかることがあります。一番にお金の話をするなと思われるかもしれません、学生はあまりお金を持っていません。その中で、お金をかけずに何千冊、何万冊という本を自由に読めるのは、本好きにとってはたまらないですね。調べものも、専門書がたくさんあるのでお勧めです。図書館にない本を読みたい場合は、頼めば購入してもらうこともできます。

そして、あまり意識しないとは思いますが図書館内に机や椅子があることです。最近、当たり前のことと思っていたことがすごくありがたく感じことがあるんですよね。図書館は基本的に静かにしなければならないところなので、静かに勉強したい人、読書したい人にはとてもおすすめです。図書館の職員さんにはどうかと思われているかもしれません、先ほども書いたように僕は寝ていることもあります。

いろんな人のおすすめの本を見られることも魅力です。自分で読もうと思わなかった、あるいはそもそも見つけていない本でも、おすすめとして展示されていると読みたくなるんですね。そういう本が、実はめちゃくちゃ面白いなんてこともありますから、本を読みたいと思っているけどどの本を読むか悩んでいる方は人のおすすめの本を読んでみると良いかもしれません。

さて、興味のない人にとってはどうでもいい話をしてきたわけですが、これが刺激になって、ちょっと図書館に行ってみようかなと思ってくれる人が少しでも増えてくれると嬉しいですね。読書のメリットは人それぞれ(僕は頭がすっきりする、単純に読書が楽しいなど)ですが、何らかの良いことはあるのではないかと思います。今後、気が向けばぜひ図書館に遊びに来てください。





図書委員おすすめの本



塞王の楯 (今村翔吾)

POPでも紹介していましたが、時代物の小説で、個人的には

読みやすいと思います。大津城を舞台に、石垣職人「穴太衆」と

鉄砲職人「国友衆」の対決が描かれています。フィクションではあり

ますが、戦国時代の職人の魂を感じる作品です。興味があれば

ぜひ読んでみてください。

(5M 鮎子田 萌生)

刑事ヤギノメ 奇妙な相棒 (松嶋智佐)

急性膵炎で長期入院していた巡査部長・弓木瞳。

彼女の復職先は、凶悪犯罪担当の刑事課一係。

弱々しい風貌とはうらはらに、彼女は

優れた観察眼から「ヤギノメ」の異名で呼ばれる。

数々の難事件の裏を、その冷静沈着な瞳が見抜く！

2025年11月に出版されたばかりの新作。

元警察官で白バイ隊員の作者が綴る、

新たな警察小説シリーズ開幕！

(3S 坂元 菜月)



学生図書委員の活動



ブックハンティング

自分の好きな本を図書館に置くチャンス！

書店に行って選ぶので、新たな本との出会いもあるかも……？

専門書・小説などの分野を問わず、5 冊も買ってもらえるので、ぜひ参加してみてください！



POP 作成

おすすめしたい本の紹介 POP を自分で作ります。手描き・印刷など何でも OK！もちろん文章だけでも OK です。完成した POP は図書館に展示されます。



図書委員おすすめの本の配架



学生図書委員がおすすめしたい本を選び、配架します。半年に一度行われるので、ぜひチェックしてみてください！

写真のおすすめ本（一部）：

- 最高の山ごはん：歩いて作って食べた話と料理
- 世界の廃城・廃教会
- 最後の恋愛論
- 日本沈没（上）
- レインツリーの国

図書委員会だよりの作成

この図書委員会だよりを作るのも学生図書委員の仕事です。何を書くかは自分で決められるので、文章を書くのが好きな方や得意な方におすすめです！

（3S 坂元 菜月）